

2006年12月8日

テムリック株式会社

各位

米国イノバイブ社と TM-411 の北米における
導出契約を締結

テムリック株式会社(本社:東京都港区 社長:浴本 久雄、以下「当社」)は、Innovive Pharmaceuticals, Inc. (本社:米国ニューヨーク市 社長兼 CEO:Mr. Steven Kelly、以下「イノバイブ社」)に抗がん剤 TM-411 (一般名:タミバロテン)の北米市場における独占的な開発・販売の権利を付与するライセンス契約を 2006 年 12 月に締結いたしました。

本契約によりイノバイブ社に対し、米国、カナダおよびメキシコを対象とする北米をテリトリーとし急性前骨髄球性白血病(acute promyelocytic leukemia : APL)を適応症とするTM-411の独占的な開発・販売権を許諾いたしました。

本契約は当社パイプラインとしては初めての導出契約となります。当社は本契約により契約一時金のほか開発段階および達成販売金額に応じたマイルストーン収入を得ることに加え、本剤の上市後においてはイノバイブ社の売上高に応じたロイヤリティを受け取ることとなります。

APLの治療としては、現在トレチノインが治療の第一選択薬とし承認され使用されておりますが、再発患者では有効性が低下するため、再発または難治性APLに対する有効な薬剤が望まれておりました。本剤は、トレチノインのように連続投与時に血中濃度の低下を起さず、維持できる特徴を有することから、トレチノインで完全寛解後に再発した患者に対して高い有効性が示され、新しいAPL治療薬として期待されます。

本契約をステップとして、本剤のAPL適用で欧州、アジアなどの主要テリトリーにおいても導出するべく活動するのみならず、他の適用については日本を含む全世界に導出する努力を続けてまいります。また、他のパイプラインは基礎段階ですが、引き続き積極的に研究開発を進めてまいります。

以上

※タミバロテン

東京大学薬学部において創製されたレチノ安息香酸(レチノイド)で、強い分化誘導活性を示す薬剤です。国内においては東光薬品工業株式会社とその開発に着手し1998年11月27日に希少疾病医薬品の指定を受け、2005年4月11日に新医療用医薬品として「再発又は難治性の急性前骨髄球性白血病(APL)」の治療薬として承認され2005年6月「アムノレイク錠2mg」として上市されました。

●テムリック株式会社

本社 東京都港区赤坂3丁目4番3号
資本金 10億5,820万円
代表者 代表取締役社長 浴本 久雄
業務内容 がん領域に特化したCRO事業(医薬品開発支援)、創業事業(自社開発)
URL: <http://www.tmrc.co.jp/>

●Innovive Pharmaceuticals, Inc.

本社 555, Madison Avenue, 25th Floor, New York, NY10022, U.S.A.
代表者 社長兼最高経営責任者, Steven Kelly (スティーブン ケリー)
業務内容 抗がん剤の導入・開発・販売
URL: <http://www.innovivepharma.com/>

*このリリースに関するお問合せ先

テムリック株式会社 東京都港区赤坂3-4-3 Tel :03-5575-8031